

「宇宙わ 2004」の話

宇宙研ファンのみなさま、
残暑お見舞い申し上げます。

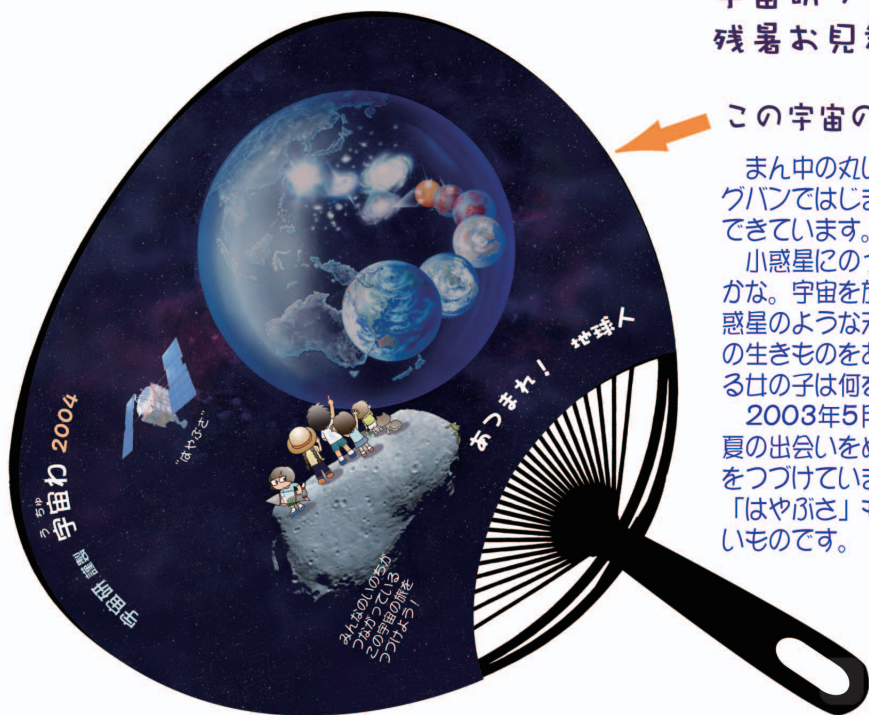
この宇宙の旅をつづけよう！！

まん中の丸い絵は、わたしたちの宇宙を象徴しています。ビッグバンではじまった宇宙に、銀河や星や太陽系が、そして地球ができています。画家の池松均さんによるものです。

小惑星にのっている子どもたちと猫は宇宙を漂流をしているのかな。宇宙を旅して、時間旅行をしているのかもかもしれません。小惑星のような天体は地球がもしないし、子どもたちと猫は地球の生きものをあらわしているのかもかもしれません。こちらをみている子は何を考えているのでしょうか。

2003年5月9日に打ち上げられた「はやぶさ」も、2005年夏の出会いをめざして、小惑星「ITOKAWA(糸川)」に向かう旅をつづけています。

「はやぶさ」もこの絵の一团も、勇気をもって旅をつづけてほしいものです。



なんと不思議な宇宙！

これは現在の宇宙の最大の謎を絵にしてみたものです。

銀河がみえますね。銀河の回転のようすや、銀河のあつまりを観測すると、観測できる銀河よりもずっと重くて重力をおよぼしている何かが宇宙にあるようなのです。直接観測できないので、正体はわからず、暗黒物質（ダークマター）と呼ばれています。

宇宙には銀河がいっぱいありますが、これがどのようにあつまっているかを示したのが、左背景にみえるものです。銀河は奇妙なあつまり方をしているのがわかります。

ビッグバンではじまってから30万年たったころの宇宙の電波模様を観測したものが、まだらの卵のようにみえる図で、WMAPという天文観測衛星がつくりだしたものです。

ごく簡単に言うと、宇宙のエネルギーは宇宙をひろげ、重力をおよぼすものはお互いをひきつける役目をします。銀河のあつまり方や、宇宙初期のまだらの電波模様を解析すると、いろいろなことがわかってきます。

一つの明るい星の輝きが見えますが、これは超新星といってその一生を最期の大爆発で終えている星の輝きです。遠い宇宙の奥までこのような超新星を観測してみると、今の宇宙は広がるスピードをあげているようなのです。宇宙には、まだ理解できないエネルギーが満ちているらしいのです。

このようなことから、おどろくべきことがおぼろげにわかり始めてきました。

- ・宇宙の始まりは、今から137億年ほど前だった。
- ・宇宙が始まって2億年後には星が光りだしたらしい。
- ・宇宙は今後も加速して膨張を続けるだろう。
- ・宇宙でわれわれの知っている物質は4%だけ、

正体のわからないダークマターが23%、残りの73%はダークエネルギー。

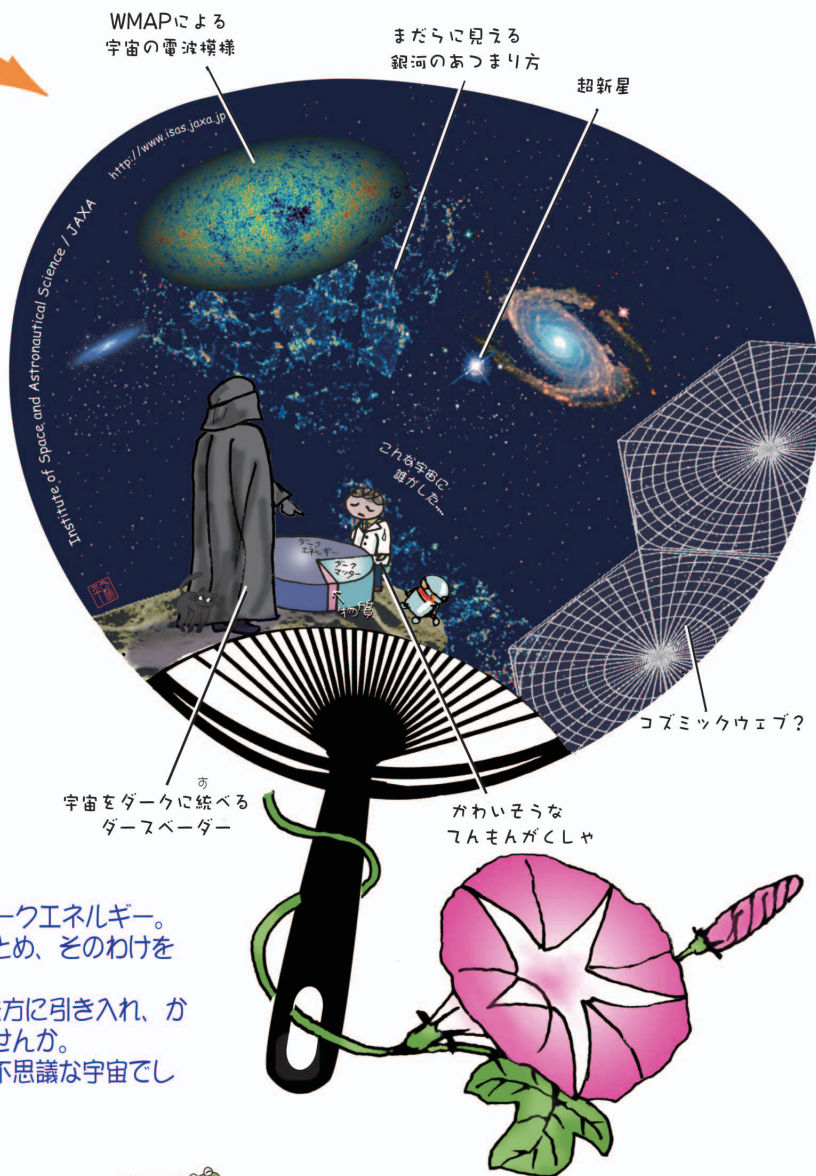
さあ、たいへんです。天文学者は、このことをしっかりつきとめ、そのわけを知らなければなりません。

「宇宙をダークに統(す)べる？」ダースベーダー、黒猫をも味方に引き入れ、かわいいような天文学者に挑戦状を叩きつけているようではありませんか。

宇宙は今こそ壮大な謎の存在をあらわしてきました。なんと不思議な宇宙でしょう。

2004年の暑き夏、「宇宙のそよ風」をあなたに捧げます。

宇宙研 企画デザイナー 敬白



WMAPによる
宇宙の電波模様

まだらに見える
銀河のあつまり方

超新星

http://www.isas.jaxa.jp

Institute of Space and Astronautical Science / JAXA

これは宇宙に
隠れている

コズミックウェブ？

あ
宇宙をダークに統べる
ダースベーダー

かわいいような
てんもんがくしゃ

成分の内訳(うちゅわけ)：科学的知識73%、粋23%、洒落4%
使用期限：秋風がふきはしめるまで。期限後は壁に掛けてご鑑賞ください。
使用上の注意：かわいいようなコキプリを叩かないこと。＊偽物に注意！